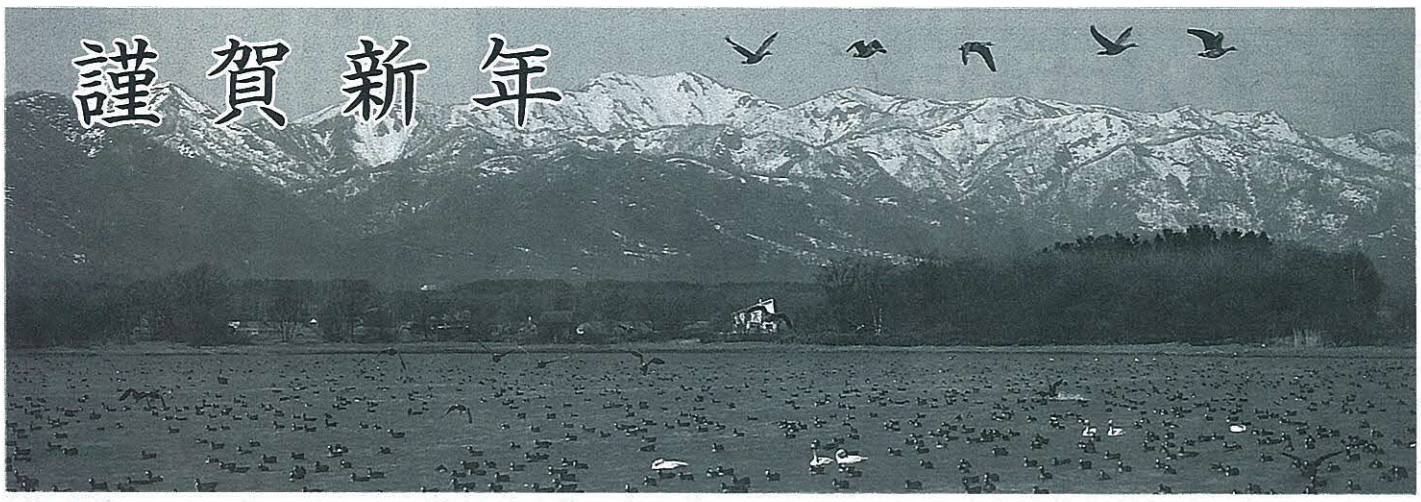


東京美唄会会報

第22号
◆発行所◆
〒113-0022　東京都文京区
千駄木3-36-11
センチュリー21
TEL 03-3824-0010
◆発行責任者◆
柏　原　宏　平

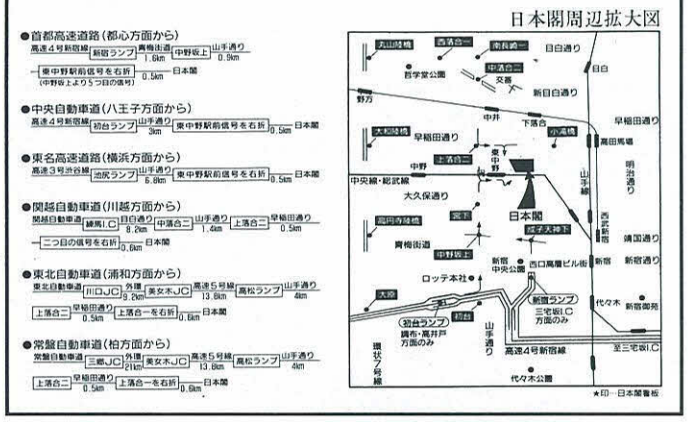
第14回総会並びに懇親会
会場　日本閣（東中野）

第14回総会と懇親会
次の要領で開催致します。

1. 日　　時……平成10年2月28日（土曜日）午後4時
1. 場　　所……**日本閣**
1. 会場住所……東京都中野区東中野5－1
1. TEL　……03－3367－2222
1. 交　　通……**東中野駅下車**
（新宿寄り、階段降りる1分）
1. 会　　費……**10,000円**
（事務費、会報、通信、会場費含む）
1. 〆　　切……**2月14日**（土曜日）**同封のはがき**

豪華抽選会、美唄出身奈良栄子歌手出演、二次会費も含む。会場内のウエイターの方は、ほとんど北海道出身ですので気軽に声をかけてください。

日本閣周辺拡大図



新年のご挨拶

東京美唄会会長　柏原宏平

この度会報二十二号が発刊されたことを嬉しく存じます。美唄市はその歴史は古く、面積も広いが人口は御承知の炭鉱の閉山により、現在男性一五、八〇〇名、女性一六、九〇〇名になっております。しかし福祉都市建設を、大きな目標とされる井坂市長さんのもと、全市一体となり、加わるに、全国各地の諸企業様の力強い御支援が加わり、新しい発展が遂げられつつあります。

年頭のご挨拶

美唄市長　井坂紘一郎

東京美唄会の皆様明けましておめでとうございます。

美唄市民とともに、心から新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、暮れになり日本全国を激震させた金融機関の倒産、なかでも本道経済の中枢でありました北海道拓殖銀行の北洋銀行への営業譲渡のニュースは、驚きとともに本市の市民生活にとりましても重大な影響を及ぼしました。

また、本市の基幹産業であります農業、とりわけ、稲作農業では、刈り取り時期の天候不順による品質の低下や、米価の下落により近年にない厳しい状況となりました。

市としては、こうした厳しい状況を踏まえ、緊急措置を講じる等その対応に努めてまいりました。

また、駅周辺再開発事業につきましては、商業用地の売却が決まり、手続きが完了したことにより、新たな環境創出が期待されるものと考えております。

嬉しいニュースとしては、今年長野で開催される冬季パラリンピックに、シットスキーの室塚一也さんと、アイスストレッジホッケーの永瀬充さんのお二人が、日本代表選手としての出場が決定したことです。

お二人のご活躍に、市民の皆さんとともに心から声援を送りたいと思います。

さて、明けて本年は、農業の振興、商工業の発展にも目を向けるのはもとより、高齢化社会のなかで福祉に視点を置いた市民参加のまちづくりを着実に進めてまいりますので、どうぞご支援をお願いいたします。

年頭にあたり、東京美唄会の一層の発展と会員の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年でありますようお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

東京美唄会報は、美唄に住んだ方々が喜びにつけ、悲しみにつけ、目を通される会報です。美唄と各地を更に強く結びつけたいと思います。今回の会報の企画が従来のものより、内容が少し異なるのは、その意図があるからです。私は、この意味から皆様から、色々な意見や、話題を、どしどし投稿して下さいます様、お願い申し上げます。

皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。

年頭にあたって

美唄市東京事務所長　扇谷　均

東京美唄会の会員の皆様明けましておめでとうございます。

新春を迎え会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年は、金融業界をはじめ大型倒産が相次ぎ、日本経済は大きな打撃を受けました。

証券界では山一證券の自主廃業、銀行界では、北海道拓殖銀行の営業譲渡等極めて厳しい一年でした。

郷土美唄市にとっても例外ではなく、この厳しい状況を乗り越えるようにと一生懸命頑張っております。

こうした厳しい状況だからこそ、企業誘致をはじめ、中央省庁からの情報収集等東京事務所に課せられた責務はより重大であると痛感しているところであります。

美唄市は、いつもの年よりは、雪が少なく市民の皆さんはホットしているのではと思います。

来る二月二十八日の東京美唄会総会で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

東京美唄会の一層のご発展と、会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

新しい人生の出発の結婚式
卒業式記念パーティ
入学式、入園式
その他各種パーティ

クラス会、同窓会
ふるさとの集まり

予約は早めに
都心の夜景は抜群

日本閣
ＪＲ総武線東中野駅新宿より出入口徒歩１分
ダイヤルイン０３－３３６７－２２２８

三菱茶志内炭鉱閉山30周年記念関東日東会の集い

八王子市　湯原勝儀

平成九年五月四日ＡＭ十一時から池之端文化センターで行われた、一都・一道・六県から、参加者一二四名、佐藤昭治事務局から本日の不参加者六六名（大半が病気療養中）の報告を受け、物故者三〇数名に対し黙とうして冥福を祈り、宴会に入った。

35才の働き盛りも
65才になりました。

地元日東から諸岡亀次郎さん夫婦が参加してくれ、日東の現況は平成九年一月現在戸数一〇七戸、人口百二十数名で老人会が加入者八二名、商店はなしと語ってくれ、日時の去る早さに自分の年齢も忘れ目に涙する老婦人も居りました。

北海道を離れて三〇年間、苦しみ、悲しみを乗り越えた。

今は仕事、子育てを成し遂げた満足感第三の人生は、子供と孫に囲まれながら、のんびりと、楽しく、健康第一で過す顔、顔、顔だった。

私のところに届いた一通を紹介致します。

先日は閉山三〇周年記念の集いの折は何かとお世話になり有難うございました。

大変懐かしく、昔の同僚の元気な姿に接する事が出来、当時の事を思い浮かべて話が出来たことは生涯忘れる事が出来ない想い出に成りました。（中略）

私にとって昭和二七年入社し、十五年間の日東での生活は青春そのものでした。飲むにつけ、遊びにつけ、忘れ難い思い出が一杯です。

再会に当たって自分の老いを忘れみなさんの変わりようには驚きましたが、シックリと見ると矢張り何処かに当時の面影が残っていて頭の整理にはさほど時間がかかりませんでした。

それだけ皆さんとの思い出が深かったと思いました。

今後ますます元気で、いつの日か再会できる日の来る事を楽しみが増えた事に感謝しています。（愛知県在住　佐藤似隆氏）

この様に参加者全員が元気で居れば、又、みんなに逢えるという思いを強くし、午後一時過ぎ散会した。

佐藤昭治　湯原勝儀　記

※日東会連絡先（事務局）
〒214川崎市多摩区
長尾五の五の一三
TEL
〇四四―九三一―五二四二

決定！高校再編

新設校	美唄工業	美唄聖華
（美唄東と美唄南を母体に） 学科集合型　6間口 総合選択制を導入	電気システム科 1間口 建築科　1間口 電子機械化　2間口	衛生看護科　2間口 専攻科　2間口 （専攻科2間口は平成10年度から）

市内の高校問題については、11月4日北海道教育委員会から市内高校の再編等について発表があり、つぎのとおり実施されることになりました。

●平成10年4月1日からの実施が決定
・美唄養護学校に高等部（重複・訪問各1間口）の設置
・美唄聖華高校専攻科の1間口増設

●平成11年4月1日から実施の方針
・高校の再編～現在の4校13間口から3校12間口への再編

なお、新設校は現美唄南校の校舎を使い、全道初の総合選択制を取り入れ、特色ある学校づくりを目指していきます。

また、学科名、内容などについてはさらに両校と道教委で具体的な検討をすることになっています。

※「学科集合型」とは、例えば、普通科、職業学科（商業科、家政科、食品製造科など）から、いくつかの学科を集合して構成するものです。

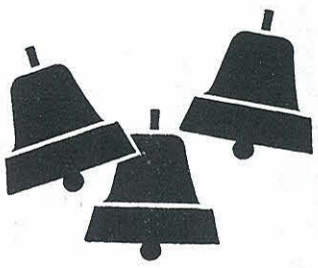
※「総合選択制」とは、学科集合型の一形態で学科ごとの募集、学年制などを維持しながら、履習教科の一部について、学科の枠を超えた科目選択を可能にするものです。

ベル演奏に拍手の渦
■障害者が成果発表

道立身体障害者リハビリテーションセンター（三田忠二所長）で五日、「第十四回リハセンター祭」が行われ、肢体障害の入所者六十四人が、日ごろの訓練の成果を発表した。

同センター体育館では、入所者が「どんぼのめがね」など二曲をハンドベルで演奏＝写真＝。難しいリズムで鳴らすベルの音に会場から大きな拍手が送られた。また、横井なおみさんら四人の代表が、普段の生活の中で感じることを意見発表した。

このほかセンターでは生け花や洋裁、ビーズ工芸など日ごろの機能訓練、職能訓練で作り上げた作品が展示された。

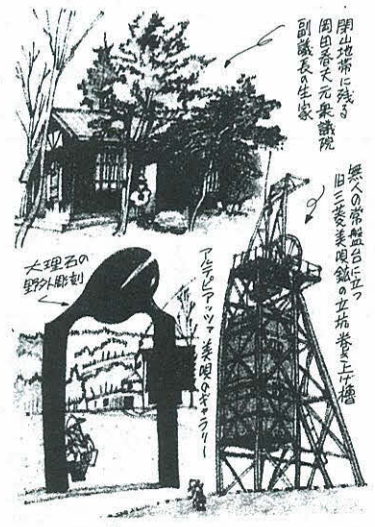


美唄東部再生へ新名所「芸術広場」

炭鉱城下町の面影なく

美唄市の中心街から十キロ余り、美唄炭山線（道道美唄富良野線）を車でかけ上がった。インター口の東明町を過ぎると谷間の集落は落合、我路で途切れ、その先が常盤台。最盛期には二万人いた旧三菱美唄鉱のミ城下町ミは、シンボルの立て坑巻き上げ櫓二本を残し鉄道線路もすべて消えていた。

閉山から四半世紀。無人のヤマは紅葉の大自然が広がるばかり。国設スキー場下の我路ファミリー公園まで引き返し、炭鉱記念館をのぞくと、山神社の額や塊炭と一緒に千本近いカギ束があった。それぞれの建物の名札や炭住番号を見ているうちに遠い記憶の扉が開き、胸が締めつけられた。



我路は文字通り気骨を示す地名のように、炭鉱節が似合う歓楽街だった。今、住民はわずか百人で廃屋と空き家が目立つ。

秋田谷喜一・町内会長の話では、病人は定期バスで通院、暮らしに便利な都会と二重生活の年寄りも多いという。老舗の靴店主だった梅田現羊さん夫妻は普段、広島県の娘さん宅に身を寄せ、彼岸で帰っていた。

美唄川の黒い流れも澄み、そのほとりに故岡田春夫・元衆議院副議長の生家が残る。父子二代同じ名前の代議士だったが、今は空き家の母屋だけになっていた。

落合・栄町の「アルテピアッツァ美唄」が市再生の新名所。旧栄小学校を転用した芸術広場で地元出身の世界的彫刻家・安田侃さんの作品群が展示されている。完成間のない大作「天沐」「天聖」はイタリア産の白大理石で、白い水路の玉石約百二十トンとともに現地から運んだ。「晴天が続くと玉石に藻が生え、雨の日には泥水で黒ずむ。初めての冬を無事乗り切りたい」と管理スタッフの小野寺良治さん。産炭地一筋に歩んできた元教師は歴史に現代彫刻を融和させようと素手で水底の落葉を拾う。体育館は交流拠点のギャラリーに、木造校舎は市立栄幼稚園になり、歓声が響いていた。

田中学長を再任
専修大道短大

専修大学（山下徳夫理事長、東京）理事会は任期満了に伴う同大北海道短大の次期学長の選任を行い、現学長の田中貞美教授（62）の再任を決めた。任期は来年一月一日から三年間。田中氏の学長就任は三期目。

田中氏は北大農学部大学院修了。一九七三年、同短大教授。九二年から学長。

美唄を道外で懐かしんでいます
東明中学校同窓会

去る九月十四日、十五日に東明中学校第四期卒業生（昭和二十八年三月十七日卒業、代表浅野正毅）が箱根湯本温泉で同期会を開催した。消息判明者九十六名に案内したところ三十五名が参加し、卒業以来四十三年ぶりに旧交を温めた。

美唄からも三名が出席して変貌した美唄の状況を報告。それを素材に想い出話に時間を忘れ、夜を徹して語り合った。翌日はグループに別れての観光。

別れ難い二十二名は更に会場を熱海に移して一泊し、和やかに語り、歌い踊って熱海の百万ドルの夜景を満喫し、次回の同期会は想い出の修学旅行コースをと約束し翌日散会した。

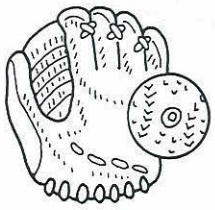
同期会の連絡先は043―2257―9193番浅野正毅。

美唄の専修道短大硬式野球部
札幌学生二部秋季で初V

同部は八月下旬から九月にかけて道工大、小樽商大など四校で戦われたリーグ線で、六戦五勝の成績をおさめ、初優勝。細川大介投手（商科二年）が最優秀選手賞、坂下幸樹投手（同）が優秀投手賞、安田奨一塁手（経済科二年）が首位打者を獲得するなど、ナインは大活躍した。

一九七三年の創部以来、同部は一部昇格を目標にしてきたが、二部と三部の境で低迷し、なかなか上がれなかった。ここ二年間、投手を中心に守りに重点を置いたチーム作りで二部に常駐する力をつけた。

藤橋美検監督（32）は「秋季リトグで延長戦を二回経験し、精神的な強さも身についた。二部は今、四校の力が拮抗（きっこう）した戦国時代。その中から抜け出た今回は、めったにないチャンスで逃したくない」と気を引きしめる。入れ替え戦の後、引退となる二年生も「一年生のために（一部昇格という）置き土産を」と気合いが高まっている。



高橋泰賢氏（たかはし・たいけん＝美唄市教育委員長）12月15日午前1時24分、胃ガンのため死去、69歳。美唄市出身。自宅は同進徳町1区。通夜は17日午後6時、告別式は18日午前10時からいずれも同市進徳町1区、沼貝寺。喪主は長男泰浄（たいじょう）氏

道立水清水高校長、同美唄聖華高校長などを経て、1994年12月から現職。同寺住職。93年、藍綬褒章受賞。

東北市場へ軟白ネギ 新規開拓を目指す

美唄の農道空港完成

同空港は幅六十メートル、長さ九百二十メートルで、滑走路部分は幅二十五メートル、長さ八百メートル。一九九一年度に着工し、国や道、美唄市が総事業費十二億八千四百万円を負担した。六日には市と市農協、峰延農協、いわみざわ農協、美唄商工会議所、同建設業協会、同振興企業クラブの関係七団体でつくる「農道離着陸場運営協議会」を設立、同会が農産物の出荷計画や販路開拓、相互乗り入れなどの業務を行う。

十日の第一便は、同市特産の軟白長ネギを東北市場に向けて二百キロ出荷。農道空港から函館空港までセスナ機で空輸し、函館で定期便に積みかえて仙台空港に運ぶ。

収穫期が終わる十一月末までに、新規市場の開拓を目指して釧路空港にも空輸し、試験的に合計三回運行する。

来年から本格運行することにしており、付加価値の高い農産物としてアスパラも夏から秋の端境期に関東方面に出荷する計画だ。

ただ、美唄―函館間の往復で、軟白長ネギ一キロ当たり千六百八十六円の経費がかかるなど、農産物の空輸だけでは採算性に問題があるため、多目的利用も検討。民間飛行機の乗り入れやスカイスポーツへの利用、歩くスキーコースなどイベント広場や、災害の緊急輸送基地としても活用したいという。

十日には午前九時半から開場式を行い、同十時に第一便が離陸、そのほかグライダーや小型飛行機のデモフライト、ヘリコプターの展示などを行う。

道内では既に新得町（十勝管内）と余市町（後志管内）で農道空港の運用が始まっている。

パラリンピック

長野で輝け！美唄の星 室塚さん 永瀬さん 市民が出場激励会

長野を舞台に、三月五日から十日間行われるパラリンピック冬季大会に、市内から二人の選手が出場する。「これだけの規模の都市から二選手が出るのは快挙。市を揚げて応援を」と十七日夜、市民による出場激励会が行われた。約百四十人が集まり、会場は期待と熱気であふれた。

代表選手に選ばれたのは、室塚一也さん（三二）と永瀬充さん（二一）。

室塚さんは、アトランタパラリンピックの車いすマラソン銀メダリストで、国内の車いすマラソン第一人者。長野大会ではクロスカントリースキーの五キロ、十キロ、十五キロ、リレーの四種目にエントリー、上位入賞の期待もかかる。

永瀬さんは、アイススレッジホッケーのゴーリー（ゴールキーパー）として出場する。アイススレッジホッケーは、そりに乗って二本のスティックを操りゴールを競う競技で、アイスホッケー同様、スピーディーな試合展開と激しい攻防が魅力だ。永瀬さんは「競技を始めた時から『長野』を意識していたので、出場することができてうれしい」と語る。

激励会では、二人に花束を贈呈した後、発起人を代表して井坂紘一郎市長が「道内から出場する十四人の選手のうち、二人も美唄からというのは、非常にうれしい。大会では道民に感動を与えてください」とあいさつ。

室塚さんは「ひとつでも上の順位を目指し、ベストコンディションで臨みます」、永瀬さんは「みなさんに感動してもらえる競技をしたい。まだ無名なスポーツですが、応援してください」と決意を述べた。

そらち師走の風景

アルテピアッツア美唄 雪まとい眠る彫刻

白一色のひっそりした世界に、巨大な彫刻が点々と存在する。

美唄出身の世界的彫刻家、安田侃さんの作品と小学校の廃校跡を利用したアートスペース、そして豊かな自然環境。それらが融合した芸術文化交流施設「アルテピアッツア美唄」。

防水のシートを衣のようにまとった彫刻作品「天沐（もく）」の足元に伸びるかすかなくぼみが、今春新設された「水の広場」。幅二・五メートル、長さ六十三メートルの流路に、真っ白な大理石の玉石が敷き詰められ、その上を澄んだ水が流れる。夏の間、多くの子供たちのはだしが、ひんやりした水と柔らかな石の感触を楽しんだ。

一九九二年のオープン以来、アルテピアッツアの入館者は、年間ほぼ三千人台。本年度は十一月までの八ヵ月間で、一万人を突破。「水の広場」で遊ぶだけで入館しないケースを含めると、実際に訪れた人数は倍と推測される。「年々整備が進み中身が充実、施設のユニークさが認められた」と関係者は見る。

冬の到来とともに、アルテピアッツアは静寂に包まれる。雪が解けて大地が息を吹き返すころ、大理石の彫刻が、雪のように白く、雪よりも温かな、その肌を現す。

美唄の空にカラフル凧

壮観、三年振りに500メートル「ブリッジ」

美唄市中村町の石狩川河川敷にカラフルな凧が舞い上がる「百万凧まつりin美唄」（同実行委主催）が七日行われ、約三万人（主催者発表）が会場を訪れ、小雨模様の空を泳ぐ凧に歓声を上げていた。

九年前に市内の凧揚げ愛好家たちが世界的なイベント「世界同日凧あげ大会」に参加したのがきっかけで、九一年からの形でスタート。実行委は「次第に参加者の間口が広がってきた」と話す。

七日午前の競技会には、小学生、一般連凧など六部門に八十人が参加。無風に加え、雨という最悪のコンディションの中、数人がかりで助走するチームもあったが、努力もむなしく、急降下する凧が続出した。

しかし、午後には風が吹きはじめ、絶好の凧揚げ日和に。美唄市と浦臼町の間を流れる石狩川に両岸から凧をわたすメーンイベント「ブリッジ凧」が三年ぶりに行われ、全長五百メートルを超える二本の凧の橋に、見物客は大喜びだった。

峰延農協

赤ピーマンで好評ジュース

製造開始昨年比3割増産へ

峰延農協で生産する赤ピーマンを使ったジュース「赤ピーマン&アップル」の製造が二十日、三笠市内のサンファーム三笠で始まった。二年前から商品化したが、すべて短期間で売り切れる好評ぶり。今年は昨年より約三割増の一万三千五百缶を製造する予定だ。

このジュースは、規格外の赤ピーマンを材料にしたピューレの消費拡大を目指し、市ジャンボピーマン生産協議会婦人カラフルの会（吉村俊子会長）が開発。ピーマンの臭みをやわらげるため、余市産のリンゴジュースを八五％混合して飲みやすくした。

この日は、同会のメンバーやピーマン生産者など九人が、午前八時から作業を始めた。夏場の収穫後、新鮮なうちにピューレに加工しておいた赤ピーマンとリンゴジュースを混ぜて殺菌。缶への注入やラベル貼りなど、製造はすべて手作業で行われる。

吉村さんは「もっと増産できればいいのですが、ピーマンの量に限りがあるので難しい。生産農家が増えてくれれば」と話していた。

ジュースは十二月一日から一缶百五十円で販売する。問い合わせは峰延農協TEL0126―7―2111へ。

日本一の直線道路力走

国道12号線の美唄―滝川沿線住民がリレー

滝川、美唄、奈井江

直線道路日本一の国道12号美唄―滝川間を活用しようというまちおこしグループ「夢街道一直線」（永桶裕明会長）主催の第六回たいまつリレーが十四日、同区間二九・二キロで行われた。

リレーは、美唄と滝川の両端から出発、中間点の奈井江町・道の駅「ハウスヤルビ奈井江」にゴールする方式に変えて二回目。沿線の三市一町から昨年より約三十人多い百三十人が参加した。さわやかな秋空の下、小学生から大人まで五～十人が一組となり、先頭のランナーが模擬たいまつを手渡しながら各チームが一キロほどを力走した。

最後のチームは、それぞれスタートから約二時間半後の正午ごろ、参加者と観衆の拍手に迎えられてゴールイン。奈井江町の二十代の女性は滝川から完走、砂川からは小学生三人がゴールまで走り抜き、主催メンバーたちから頑張りをたたえられていた。

美唄観光マップ完成

美唄市は宮島沼やアルテピアッツア美唄など、市内の観光名所を記した観光マップを作った。名所を番号で示し、一目で所在地が分かるようにしたのがポイント。一万部を用意、市役所などで配布している。

A4判三つ折りで、見開きの地図に観光地とゴルフ場、スポーツ施設を二十二ヵ所掲載。それぞれの住所や連絡先、簡単な説明も付けた。観光地は、JR美唄駅からの距離や、駅から車とバスを使った場合の所要時間も示した。

担当の市開発観光係は「市民でも市内の名所を意外に知らないこともある。マップを利用して、市外からのお客にもアピールしてほしい」。問い合わせは同係TEL0126―2―3131へ。

大望の単独航海！
「ビバイ・エクスプレス」丸

人生に於ける職業の選択は、大海原に出帆に似ていないだろうか、若さで選択した職が初航海とするならば、美唄市東明出身の佐藤正信（六四）さんは平成九年一〇月、赤帽運送業「ビバイ・エクスプレス」を開業し第三の単独航海へ出帆した。

奥様の反対を押し切っての開業ではあったが、順調な滑り出しだという。美唄東高校を昭和二七年卒の第二期生でもある佐藤さんは東京美唄会の幹事を務めて七・八年。

その間、美唄市一〇〇年祭に出席致し、東明閣で、今は故人の中田安隆氏などに東京に帰ったら同窓会を作るからお前たち手伝えと、自ら電話その他の方法で現在の東高の同窓会（東京の）を作られたとのことその会も、六年が経ち、幹事長として活躍している。

人懐こい笑顔と誠実さが人を呼び寄せるのであろう。

佐藤さんが東高入学当時は校舎が未完成ながら一年と二年生が入れるだけの教室しかなかったが、生徒各自が現在の南高から机や椅子を持ち移動したというから状況を想像しても圧巻である。

また、図書室の開設にあたり図書選びの為、幾度となく札幌まで足を運んだと言う。

先生も生徒も一丸となって学校運営に関与した経験からか、誰よりも母校を誇りとし、郷土への愛着心も人一倍強い。

そこから発想した会社名なのでもあろう。

現在、世相は底冷えと得たい怪しい雲行きにあるが佐藤さんならきっと知力を絞って荒波をさけ、美唄の野や山で培った体力と精神力を駆使して乗り切る事だろう。

頑張れ！

「ビバイ・エクスプレス」丸
編集委員　渡辺和子

渡辺　なぜ今、赤帽なんですか？

佐藤　六〇才で、定年になってビルの管理人をやって来ましたが、自分でも何か一つもの足りなかったのです。

そんな時に同期の明円君から赤帽の組織の事を聞いて渡辺赤帽社長を紹介戴き内容の説明をお聞きして、これなら自分が求めていたものと一致すると、早速、帰って家族と相談の結果、女房は案の定反対、子供が賛成で、開業した次第です。

名前の出来は佐藤では許可にならないので名刺を見て美唄ではと渡辺社長の言葉をヒントにしました。

渡辺　どうもありがとうございます

美唄の名産品　第一回　ラーメン

本場札幌生ラーメンの工場が美唄市にあります。東七条北八丁目―高速道路入り口のすぐ近くに。会社名は「株式会社　味車」おいしい味を車でお届けできます、というのがその名の由来。

味は塩、醤油、味噌の三種類ですが、それぞれが「濃厚ガラ炊き」と「がんこ繁盛店」という二種類ずつの商品があり、全部で六通りの味を楽しめます。これがセールスポイントとなっています。

「濃厚ガラ炊き」のスープは豚骨・鶏ガラに玉ねぎ・ニンジンなどを加えてじっくり煮込んだもの。「がんこ繁盛店」のは煮干・鰹節でだしをとって豚の旨み脂などを加えて煮込んだもの。

「どちらも濃厚で深い味わいがあり、札幌ラーメン本来の本物のおいしさがある」（サービス室談）という自信の品。

値段は一袋（二食入）一九六円＋5％

お問い合わせ先
株式会社　味車　北海道事業部
電話0120―246831
編集委員　武田勝年

ユックのご挨拶

寒風吹きすさぶ西新宿の一角に立つ、住友ビルの五十階で商う北海道定山渓生まれのレストラン・ユック。

高層街のレストランは景色も良いかわり、値段も高いだろの予想に反して、手頃の値段で味も中々のもの、食材は毎日ジェット便で運んできます。

今の季節ならカニ・鰍・など懐かしい魚・貝もお楽しみ戴けると自負しております。

それよりもなによりも、この眺望を見て下さい。晴れた日には富士山をバックに東京を一望にできます。

夜景は、これまた大変な眺めで、さすが二百㍍の眺めです。

味の一部
◆くしろセット（カニ・お造り・炭火焼）3,200円
◆知床流氷会席（石狩鍋・お造り・カニ他）5,000円
◆石狩鍋2,000円　◆石狩鍋セット3,400円
◆タラバカニ鍋2,800円　◆鱈白子ポンズ800円
◆鰍鍋1,800円

まだまだ沢山の料理を取り揃えて皆様方のおいでをお待ち致します。

お家族の会食、卒業パーティ・入学祝い・入園・その他どんな会食にも応じますので、気軽にご相談下さいませ。

店長　広田

会員の便り

美唄出身者でそれぞれの立場ご活躍して人のインタビュー等、シリーズ化したものを、載せるのも話題性に富むように思います。

市川市本塩　猪狩敏子

毎年みなさんの元気な顔を見られるのは楽しいのですが、年々少なくなっている様なきがします。新聞誌上にでもだしてもっと多くの方々に、お会い出来ればと、常々想っておりますが無理でしょうか？

葛飾区高砂　由利恵美子

前略　この度は会報をお送り戴きありがとうございます。記事には懐かしい美唄のニュースがたくさん掲載されており楽しく拝見しました。「クマ民家近くに出没」は、昔小学校へ通った道でしたから驚いております。ふるさとが、だんだん自然にかえって行くのが、ややさびしい気持ちです。これからも美唄の記事をたくさん載せて下さい。期待しております、なお田嶋尚子教授と美唄のむすびつきがよく理解出来ません。短い解説が必要と想いました。

四日市市笹川　寺井勇吉

私達、昭和十九年常磐小学校第二二期卒業の同期会を去る六月一五日札幌ススキノのジャスマック、プラザーホテルで同期生四八名、並びに家族、先生を囲み盛大に行われました。首都圏からも東京美唄会菊池監事を含め一五名が参加しました。又、二日目のオプションには、天人峡温泉でも二五名参加、美瑛の丘、旭岳のロープウェイでの登山、羽衣の滝、帰路の狩勝峠、トマム、夕張の石炭村等五〇数年前を語りながら、初夏の北海道を満喫して来ました。「来年の美唄会にはぜひ参加したいと想っております。」

藤沢市村岡東　生駒孝雄

編集後記

◇金融破壊や大手一部上場の会社がいとも簡単に、倒産するなど、激動の平成九年が終わり新たな寅年を迎えておりますが今の所、上昇の気配につながる何も見つかりません。

◇田嶋尚子教授と美唄の結び付きを四日市市の寺井勇吉さんから質問がありました。

田嶋教授は初代美唄市長の桜井省吾氏の孫です。

現在、当美唄会の副会長、田嶋良子さんの娘さんです。当会では美唄の生字引としてご協力をいただいております。

◇今回から、武田勝年氏を編集委員に参加して戴き、記事の取材やら、編集などに協力戴けるようになりました。

武田氏は三井美唄出身ですのでご存じの方が多数お在りのことと思います。

◇今回も間に合わなくて、佐藤氏の自宅をお借りして編集を致しましたが、時間が足りませんでした。

◇親睦会が二月二八日ですが多数の参加を幹事一同お待ち致します。

日本閣でお会いできるのを楽しみにしております。

編集責任　佐藤正信
副責任　武田勝年
編集委員　飯尾　敦
同　常磐　厚

新年のご挨拶を申し上げます。

東京美唄会会長　柏原宏平

副会長　岡田豊

幹事
武田勝年　佐藤正信　金雄輔　九島秀夫　今野厳　飯尾敦
沼田道雄　岡本哲也　田嶋良子　都竹卓郎　竹林省吾

顧問
千葉信亮　近岡茂　常磐厚　中村彦　羽田和　田中桂子　高橋美夫　田中義勝　渡辺和子
菊池元一　水田努　逢坂国徳　山下省一　渡辺

監事

誠心誠意！安心！正確！迅速！低料金！

赤帽
ビバイ・エクスプレス

引っ越し、お祝品、贈答品、お返し品、手荷物、
フィルム1本、本、書籍1冊から大きな品物まで、
どんなものでも、
お客さんの心で運びます。

赤帽ビバイ・エクスプレス
佐藤正信
東京都練馬区関町北4-33-25グランディMC605
TEL+FAX:03-3928-9212　携帯電話：020-53-65476